

修学旅行に向けての平和学習4

3年生 広島市立己斐中学校とのオンライン交流 9月2日(水)

翌週に修学旅行を控えた9月2日(水)、3年生は広島市立己斐(こい)中学校とオンライン交流を行いました。

今回修学旅行で訪れる広島市の平和記念公園には、「原爆ドーム」や「広島平和記念資料館」のほかにも、「平和の鐘」や「原爆死没者慰霊碑」など、数多くの史跡が点在しています。そのため、それらを紹介する書籍やWebサイトも数多くあり、実際に案内するボランティアの方々もいます。そうしたなか、広島市立己斐中学校では、平和学習の一環として、生徒たちが平和記念公園を案内する「碑めぐりガイド」の取り組みを行っていることを知り、お願いしたところ、快くお引き受けいただきました。



そうしたなか、本校の教員は「平和学習を考える教師の集い」に参加してきました。これは、公益財団法人広島平和文化センターと広島市教育委員会が共催する1泊2日のイベントです。学校として初めて広島での平和学習を行う本校としては、教員自身が事前に理解を深めておきたいと考えていたため、申し込んだところ審査を通り、8月18日・19日に先生たち4名で広島に行ってきました。現地では、被爆体験講話や平和記念資料館見学など様々なプログラムを体験することができました。そのなかに己斐中学校の上記実践報告もあり、その後己斐中学校の先生方とお話する機会もあったので、事前打合せとともに交流も図ることができました。



今回の取り組みでは、両校をオンラインでつなぎ、公園内を案内する己斐中の生徒と案内される八幡中の生徒、その班員同士で挨拶をかわしました。己斐中の生徒さんたちが、とてもフレンドリーに話しかけてくれたこともあり、同じ中学生として親近感をもちました。実施に先立って生徒同士も事前に顔を会わせることで、初対面での緊張感も和らぎ、安心して交流できる気持ちになりました。当日会えることが楽しみになった交流活動でした。